

令和元年度

東京都市大学「校友会」茨城支部総会・懇親会



公 自 自
正 由 治

校友会茨城支部

(URL:<http://tcu-alumni.jp/branch3/ibaraki/>)

令和元年6月29日(土)

於：水戸「三の丸ホテル」

式次第

司会 君山 浩一(S63 土木)

I 総会 (11:30~12:40)

1. 支部長挨拶 須藤 賢一 (S49 土木)
2. 来賓紹介 (別紙)
3. 来賓挨拶 東京都市大学 名誉教授
東京都市大学 校友会 幹事
大谷 眞一 (S53 院 生産機械)

東京都市大学 校友会 副会長
川辺 加代子 (S50 国文)
3. 支部役員紹介 (別紙)
4. 近況報告 題名「すべての子どもたちの未来のために
一心に響いた主な言葉と先人の教えー」
茨城支部 顧問
大畠 章宏 (S49 院 機械)

(記念写真撮影) 撮影後、会場準備のため会場の外でお待ちください

II 懇親会(12:40~14:30)

1. 乾杯 茨城支部 副支部長
石村 哲朗 (S55 院 生産機械)

(歓 談)
2. ビンゴ大会 塚田 正男 (S50 機械)
3. 校歌斉唱 (ハーモニカ伴奏) 茨城支部 顧問
熊倉 豊彦 (S45 院 電気)
4. 中締め 茨城支部 顧問
樋之口 英嗣 (S47 経営)

本日のご来賓

東京都市大学 名誉教授

東京都市大学 校友会 幹事

大谷 眞一 様 (S53 院 生産機械)

東京都市大学 校友会 副会長

川辺 加代子 様 (S50 国文)

東京都市大学 校友会 ICT 部会長

露木 博視 様 (S55 建築)

東京都市大学 校友会 企画委員長

金子 正樹 様 (S55 経営)

茨城支部役員

支部長 須藤 賢一 (S49 土木)

副支部長 瀧田 とも子 (S44 家政)
中島 和行 (S47 電気)
石村 哲朗 (S55 院 機械)
小池 精一 (S56 院 土木)

顧問 山口 雅夫 (S41 土木)
熊倉 豊彦 (S45 院 電気)
樋之口 英嗣 (S47 経営)
大畠 章宏 (S49 院 機械)

幹事 小野 洋子 (S44 家政)
野口 洋子 (S48 家政)
朝倉 伸治 (S63 機械)
君山 浩一 (S63 土木)
米谷 豊 (H02 機械)
吉岡 博之 (H08 院 土木)
井上 孝治 (S53 機械)
大畠 康宏 (H20 院 機械システム)
笠原 秀之 (H20 院 エネルギー)
小野田 充 (H23 院 エネルギー)

東京都市大学校歌 相馬御風 作詞 山田耕筰 作曲

1. 世界に輝く大東京の 文化と自然の綾なすほとり
れいろうちり
玲瓏塵なきあしたの空に 自然こそひらめけ吾が三色旗

われらが目指すは創造^{いちろ}一路 ^{りん}凜たる学徒の雄姿をみよや。

2. 静かに更けゆく^{やてん}夜天の下に ^{もと}自ら省み世の^{さま}態^うおもふ

われらが胸には燃え立つ^{こころ}抱負 ^{いのち}公正自由の精神を生命

^{まいしん}邁進やまざる吾等が肩に ^{ゆくて}使命は大なり行手は遥か。

3. 仰げば^{とうくうくもむらさき}東空雲 紫^{さん}に 燦たる希望の日ぞ今昇る

日に日に^{はえ}榮^ゆ行くわれらが母校 日に日にさやけきわれらが理想

いざいざわが友意気高らかに 前人未拓の道開かばや。

東横学園女子短期大学歌 石上堅 作詞 高田三郎 作詞

1. 夢もあかるく ひろく学び ゆかりの^{はなざり}花桐 うらうらと

日本の^{ちしお}血汐 ^{わかむね}若胸にたぎり ^{さち}幸ある歴史を ^{おとめ}きづく処女

^{はげ}励^{ほこ}み誇りて とともに見よ 青き空に伸びゆく大学 東横学園 東横学園

2. ^{こころ}心すがしく ふかく^{おも}想い せせらぐ玉川 さらさらに

世界の^{ちせい}知性 ^{たかむね}高胸にあふれ ^{さち}幸ある平和を ^{おとめ}いのる処女

^{みが}磨^{ただ}き正しく とともに見よ ^{あま}天^{そら}つ空にそそれる大学 東横学園 東横学園

3. ^{ひとみ}瞳 すぐしく 愛にうるみ ^{ほほ}頬よせ^{わかぐさ}若草 ほのぼのと

明日への^{ぎげい}技芸 ^{ひろむね}広胸にもえて ^{さち}幸ある世代に ^{おとめ}み^{おとめ}のる処女

^{きた}鍛え^{きた}ゆかしく とともに見よ ^{くに}国^{そら}つ空に^と永久なる大学 東横学園 東横学園

武蔵工業大学校歌

校歌制定委員会

編詞

梶山三郎

作曲

1. 芙蓉ふよう たかねあおの高嶺たかねあお仰あおぎみて 多摩たまたまの流れながれの水みづ清きよき

世紀せいきの園そのに咲さき出いづる 武蔵工大ぶさうこうだその名なこそ

智ちの泉いずみなり光ひかりなれ
2. 科学がくの真理まこと極きくめんと 技わざを練ねり術じゆつを磨こきつつ

共ともにいそしむけいせつ蛍雪けいせつの 武蔵工大ぶさうこうだその名なこそ

自治じちと自由じゆうの象徴しやうていなれ
3. 功績こうせきの精華しやうかは回まわりきて 白亜はくあは蒼あおく苔こけむせど

星霜せいそう永と久あに限かぎりなき 武蔵工大ぶさうこうだその名なこそ

我われが青春せいしゆんの故郷こきやうなれ